

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年8月9日
【四半期会計期間】	第54期第1四半期（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）
【会社名】	システムズ・デザイン株式会社
【英訳名】	SYSTEMS DESIGN Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 隈元 裕
【本店の所在の場所】	東京都杉並区和泉一丁目22番19号
【電話番号】	03 - 5300 - 7800
【事務連絡者氏名】	取締役 岡本 芳明
【最寄りの連絡場所】	東京都杉並区和泉一丁目22番19号
【電話番号】	03 - 5300 - 7800
【事務連絡者氏名】	取締役 岡本 芳明
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第53期 第1四半期連結 累計期間	第54期 第1四半期連結 累計期間	第53期
会計期間	自2018年 4月1日 至2018年 6月30日	自2019年 4月1日 至2019年 6月30日	自2018年 4月1日 至2019年 3月31日
売上高 (千円)	1,957,473	1,846,380	9,084,205
経常利益又は経常損失() (千円)	19,717	96,822	51,175
親会社株主に帰属する四半期純損失()又は親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	9,268	72,432	105,421
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	18,198	74,632	87,420
純資産額 (千円)	3,808,514	3,793,869	3,913,956
総資産額 (千円)	5,683,770	5,534,562	5,910,462
1株当たり四半期純損失()又は1株当たり当期純利益 (円)	2.65	20.72	30.15
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	67.0	68.5	66.2

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第53期連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第53期第1四半期連結累計期間及び第54期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の一部に弱さがみられるものの、企業収益や雇用・所得環境の改善が続く中、金融緩和や各種経済政策を背景として、緩やかながら景気回復基調で推移しました。一方、海外では米国の景気は堅調に推移しているものの、中国では米中貿易摩擦により景気に減速がみられるなど、米国の経済政策動向に対する懸念や地政学リスクの高まりなどにより、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属する情報サービス分野においては、人手不足の解消に向けた働き方改革など生産性向上への取り組みやセキュリティ対策への意識の高まりなどから投資が続いており、企業のIT投資は堅調に推移しております。

このような状況の下、当社グループでは継続案件や新規案件の受注確保、人材育成及び採用活動への投資などに注力してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,846,380千円(前年同期比5.7%減)、営業損失は99,792千円(前年同期は13,271千円の営業利益)、経常損失は96,822千円(前年同期は19,717千円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失は72,432千円(前年同期は9,268千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

システム開発事業

システム開発事業につきましては、2019年2月に子会社が連結範囲から外れたことによる影響がありました。また、長期の受託開発案件の当初計画からの遅延による影響から案件の受注が伸び悩みました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は925,171千円(前年同期比16.8%減)、営業損失は77,814千円(前年同期は2,818千円の営業利益)となりました。

アウトソーシング事業

アウトソーシング事業につきましては、2018年7月に実施したM&Aによる業績への寄与がありました。一方で、一部子会社の業績が低調な推移となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は921,209千円(前年同期比8.9%増)、営業損失は21,978千円(前年同期は10,452千円の営業利益)となりました。

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の減少等により前期末比375,899千円減の5,534,562千円となりました。純資産は、利益剰余金の減少等により前期末比120,087千円減の3,793,869千円となり、自己資本比率は68.5%となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	15,760,000
計	15,760,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年8月9日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	3,940,000	3,940,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	3,940,000	3,940,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (千株)	発行済株式総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
2019年4月1日～ 2019年6月30日	-	3,940	-	333,906	-	293,182

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしておりません。

【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 443,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,496,000	34,960	-
単元未満株式	普通株式 600	-	-
発行済株式総数	3,940,000	-	-
総株主の議決権	-	34,960	-

(注)「単元未満株式」の「普通株式」には当社所有の自己株式85株が含まれております。

【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
システムズ・デザイン(株)	東京都杉並区和泉一丁目22番19号	443,400	-	443,400	11.25
計	-	443,400	-	443,400	11.25

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,543,570	2,584,242
受取手形及び売掛金	1,547,362	914,819
商品及び製品	28,964	26,134
仕掛品	126,005	331,608
原材料及び貯蔵品	16,654	15,025
その他	82,290	91,920
貸倒引当金	1,140	732
流動資産合計	4,343,708	3,963,018
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	425,656	425,656
減価償却累計額	282,523	285,036
建物及び構築物(純額)	143,133	140,620
土地	107,273	107,273
リース資産	17,030	17,030
減価償却累計額	12,766	13,127
リース資産(純額)	4,264	3,903
建設仮勘定	-	1,004
その他	270,306	270,306
減価償却累計額	228,940	230,881
その他(純額)	41,366	39,425
有形固定資産合計	296,038	292,227
無形固定資産		
のれん	557,172	535,759
ソフトウェア	3,361	2,995
その他	7,644	7,644
無形固定資産合計	568,179	546,399
投資その他の資産		
投資有価証券	77,962	75,679
長期貸付金	1,336	1,283
繰延税金資産	325,530	358,385
その他	297,706	297,570
投資その他の資産合計	702,536	732,917
固定資産合計	1,566,753	1,571,544
資産合計	5,910,462	5,534,562

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	43,682	28,235
1年内返済予定の長期借入金	25,011	-
リース債務	3,330	3,330
未払金	617,319	549,915
未払法人税等	93,723	18,927
賞与引当金	164,190	52,768
受注損失引当金	203,304	209,474
受託契約関連損失引当金	58,177	34,135
役員退職慰労引当金	15,490	-
その他	248,339	328,050
流動負債合計	1,472,567	1,224,838
固定負債		
リース債務	6,917	6,085
繰延税金負債	7,154	4,231
役員退職慰労引当金	40,480	41,640
退職給付に係る負債	459,972	454,274
資産除去債務	2,953	2,953
その他	6,460	6,670
固定負債合計	523,938	515,854
負債合計	1,996,505	1,740,693
純資産の部		
株主資本		
資本金	333,906	333,906
資本剰余金	293,182	293,182
利益剰余金	3,457,056	3,339,169
自己株式	198,105	198,105
株主資本合計	3,886,039	3,768,152
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,118	11,427
退職給付に係る調整累計額	14,798	14,288
その他の包括利益累計額合計	27,916	25,716
純資産合計	3,913,956	3,793,869
負債純資産合計	5,910,462	5,534,562

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	1,957,473	1,846,380
売上原価	1,576,775	1,588,107
売上総利益	380,698	258,273
販売費及び一般管理費	367,427	358,065
営業利益又は営業損失()	13,271	99,792
営業外収益		
受取利息	25	3
受取配当金	402	418
助成金収入	5,851	800
その他	344	1,762
営業外収益合計	6,624	2,984
営業外費用		
支払利息	177	14
営業外費用合計	177	14
経常利益又は経常損失()	19,717	96,822
特別損失		
固定資産除却損	562	-
減損損失	303	-
特別損失合計	866	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	18,850	96,822
法人税等	28,119	24,389
四半期純損失()	9,268	72,432
親会社株主に帰属する四半期純損失()	9,268	72,432

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失()	9,268	72,432
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,747	1,690
退職給付に係る調整額	182	509
その他の包括利益合計	8,930	2,200
四半期包括利益	18,198	74,632
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,198	74,632
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
減価償却費	4,507千円	5,109千円
のれんの償却額	16,897	21,413

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月26日 定時株主総会	普通株式	45,456	13.0	2018年3月31日	2018年6月27日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月25日 定時株主総会	普通株式	45,454	13.0	2019年3月31日	2019年6月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	システム開 発	アウトソー シング	合計		
売上高					
外部顧客に対す る売上高	1,111,432	846,041	1,957,473	-	1,957,473
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	-
計	1,111,432	846,041	1,957,473	-	1,957,473
セグメント利益	2,818	10,452	13,271	-	13,271

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	システム開発	アウト ソーシング	全社	合計
減損損失	-	303	-	303

当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	システム開 発	アウトソー シング	合計		
売上高					
外部顧客に対す る売上高	925,171	921,209	1,846,380	-	1,846,380
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	-
計	925,171	921,209	1,846,380	-	1,846,380
セグメント損失 ()	77,814	21,978	99,792	-	99,792

(注) セグメント損失()の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純損失()	2円65銭	20円72銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純損失() (千円)	9,268	72,432
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期 純損失()(千円)	9,268	72,432
普通株式の期中平均株式数(千株)	3,496	3,496

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月9日

システムズ・デザイン株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 田中 淳一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 福原 崇二 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているシステムズ・デザイン株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、システムズ・デザイン株式会社及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。